

令和7年3月3日

観音寺市議会議長 豊浦 孝幸 様

住 所 [REDACTED]

氏 名 合田 豊

住 所 [REDACTED]

氏 名 [REDACTED]

紹介議員 岸上 政憲

観音寺市で学校給食の無償化等を求める請願

趣旨

1、観音寺市の学校給食費無償化を実施すること。2、学校給食の食材の地元利用を促進すること。3、観音寺市新学校給食センターの開業に際して、一般市民を対象とした試食会を開催すること。これらの3つの項目について履行するよう、請願します。

請願事項

少子化の中で子育て支援の必要性が指摘され、物価高騰の中、学校給食費は年間5～6万円で、子育て世代にとって小さない負担となっています。香川県内でも丸亀市、小豆島町などが、公立小・中学校の給食費無償化を実現しており、香川県も第3子以降の小・中学校給食費を無償化する市町などへの補助制度を令和6年1月から開始し、観音寺市でもその制度を実施しています。また、文部科学省によると、令和5年9月時点において、全国では547自治体が小・中学校の給食費無償化を実施しています。児童・生徒の18歳までの医療費無償化を実施している観音寺市が、子育て世代に優しい市として子育て世代に認められるためにも、観音寺市での学校給食費の無償化の実施を求めます。

次に、観音寺市新学校給食センターが来年度から供用開始され、調理場が1か所に集約されることにより、地元食材の利用が、今までより困難になる面もあると思われます。安全で新鮮な地元食材を学校給食に活用することは、子どもたちの健康増進とともに地元産業の発展にもつながるものです。安全な地元食材を活用することを強く要望し、地元農業者、農業団体、流通業者との連携強化を求めます。

最後に、令和4年に文教民生委員会が視察した大洲市では、新学校給食センターの開業に際して、一般市民を対象とした5,000食規模の試食会を実施し、市民の学校給食に対する理解向上を図っています。観音寺市でも、一般市民を対象とした試食会の実施を求めます。